



2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月6日

上場会社名 エンカレッジ・テクノロジー株式会社

上場取引所 東

コード番号 3682 URL <http://www.et-x.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 進也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 柳 忠和

TEL 03-5623-2622

四半期報告書提出予定日 2018年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	1,195	29.3	385	149.0	385	137.4	265	141.0
2018年3月期第2四半期	924	6.1	154	5.0	162	0.3	110	0.8

(注)包括利益 2019年3月期第2四半期 285百万円 (136.1%) 2018年3月期第2四半期 120百万円 (9.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	38.66	
2018年3月期第2四半期	15.91	

(注1)当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(注2)「1株当たり四半期純利益」は、信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めて算出しております。

(注3)「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	4,189	3,220	76.9
2018年3月期	3,699	3,039	82.2

(参考)自己資本 2019年3月期第2四半期 3,220百万円 2018年3月期 3,039百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		25.00	25.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				14.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2018年3月期の年間配当金は、当該株式分割前の金額であります。株式分割を考慮しますと、2018年3月期の1株当たり年間配当金は12円50銭となります。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,220	17.0	450	10.2	460	10.0	320	10.1	46.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注1)当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式数を除く)により算出しております。

(注2)通期の「1株当たり当期純利益」は、2018年3月期末時点で信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めて算出しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	6,924,200 株	2018年3月期	6,924,000 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	54,686 株	2018年3月期	57,486 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	6,867,295 株	2018年3月期2Q	6,923,698 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、北海道胆振東部地震や大雨、台風による被害など相次ぐ自然災害による経済への影響もありましたが、企業収益や所得環境の改善が続き、国内景気は緩やかに回復しています。海外においては、米国経済が好調さを持続させている一方で、保護主義的な経済政策を断行することによる影響や世界各国の地政学リスクなど、注意深く見守ることが必要な状況となっています。日銀短観によると、当社が事業を行う情報サービス分野においては、業況は継続して改善が見られますが、雇用の需給は一段と逼迫した状況となっています。

このような状況のもと当社グループは、製品開発面では、内外のセキュリティ脅威から重要システムを守る特権ID管理製品「ESS AdminControl」の最新バージョン1.6を8月にリリースいたしました。また、第1四半期に引き続き「ESS REC」へのAI機能搭載実現に向けた研究開発に努めました。

営業面では7月に日本金融通信社(ニッキン)主催の「サイバーセキュリティセミナー ～金融機関に求められる最新の脅威対策～」に出展し、FISC(公益財団法人金融情報システムセンター)の安全対策基準をもとに検討すべき運用上のシステムリスク対策と当社製品の活用事例を中心としたご紹介を行いました。また、8月には東京、9月には大阪にて、SBクリエイティブ株式会社主催の「セキュリティマネジメントカンファレンス 2018 夏」に出展し、小規模システムにおけるサーバーセキュリティ対策として「ESS AdminGate」のご紹介を行いました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、前期からの繰り越し案件や重要インフラ事業者に対する大型案件等の納品により1,195,795千円(前年同期比29.3%増)となりました。また、前年同期比では研究開発費や労務費、外注費などが増加したものの、人材の採用活動の遅れや売上高の伸びで吸収されたことにより営業利益は385,428千円(前年同期比149.0%増)、経常利益は385,639千円(前年同期比137.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は265,461千円(前年同期比141.0%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①パッケージソフトウェア事業

当第2四半期連結累計期間におけるライセンス売上は、公共分野における重要インフラ事業者に対する「ESS REC」、「ESS AdminControl」などの主力製品と新製品「ESS AdminControl for Client」を加えた大型案件や金融を中心としたその他重要インフラ事業者や大規模システムを有する事業者への納品等により伸長し、449,192千円(前年同期比81.3%増)となりました。また、その他の売上も引き続き順調であったことなどにより、セグメント売上高は1,124,102千円(前年同期比32.7%増)となりました。セグメント利益は、627,453千円(前年同期比78.3%増)となりました。

②システム開発サービス事業

当第2四半期連結累計期間におけるシステム開発サービス事業は、ほぼ計画どおりに進捗いたしました。セグメント売上は71,693千円(前年同期比7.7%減)となり、セグメント利益は9,833千円(前年同期比12.9%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメント販売実績

(単位:千円)

報告セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
うちESS REC (REC)	158,770	198,622
うちその他ライセンス	88,942	250,569
ライセンス	247,713	449,192
保守サポートサービス	451,872	500,998
クラウドサービス	24,151	32,687
コンサルティングサービス	81,312	104,133
SIO常駐サービス	20,221	14,884
その他	21,813	22,206
パッケージソフトウェア事業 計	847,084	1,124,102
システム開発サービス事業	77,646	71,693
合 計	924,730	1,195,795

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ489,438千円増加し、4,189,009千円(前連結会計年度末比13.2%増)となりました。主として現金及び預金の増加469,058千円、売掛金の減少20,985千円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ308,477千円増加し、968,472千円(前連結会計年度末比46.7%増)となりました。主として前受金の増加202,114千円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ180,960千円増加し、3,220,537千円(前連結会計年度末比6.0%増)となりました。主な減少要因は、利益剰余金の配当86,548千円の支払、増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上265,461千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、2,344,272千円(前事業年度末比479,175千円増)となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、669,831千円(前年同期比96,644千円増)となりました。主な収入要因は、税金等調整前四半期純利益385,639千円、前受金の増加額202,114千円、主な支出要因は法人税等の支払額74,216千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果支出した資金は、104,106千円(前年同期比29,101千円の支出減)となりました。主な支出要因は、開発用サーバー等の有形固定資産の取得による支出14,721千円、製品の拡張・改良に伴う市場販売目的ソフトウェア等の無形固定資産の取得による支出99,503千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果支出した資金は、86,548千円(前年同期比66,055千円の支出減)となりました。配当金の支払額86,548千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年10月29日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。今後業績予想の数字に影響を及ぼす事態が生じた場合は、すみやかに開示を行います。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,075,213	3,544,272
売掛金	227,324	206,339
その他	31,239	43,917
流動資産合計	3,333,778	3,794,529
固定資産		
有形固定資産	34,188	38,403
無形固定資産	61,309	78,373
投資その他の資産	270,295	277,704
固定資産合計	365,793	394,480
資産合計	3,699,571	4,189,009
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,782	20,527
未払法人税等	84,273	140,825
前受金	408,563	610,677
賞与引当金	10,714	62,652
その他	101,227	101,570
流動負債合計	625,560	936,253
固定負債		
退職給付に係る負債	5,753	5,893
従業員株式給付引当金	3,132	750
資産除去債務	25,549	25,574
固定負債合計	34,434	32,218
負債合計	659,994	968,472
純資産の部		
株主資本		
資本金	507,386	507,386
資本剰余金	489,386	489,386
利益剰余金	2,082,102	2,261,015
自己株式	△60,027	△57,102
株主資本合計	3,018,846	3,200,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,729	19,852
その他の包括利益累計額合計	20,729	19,852
純資産合計	3,039,576	3,220,537
負債純資産合計	3,699,571	4,189,009

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	924,730	1,195,795
売上原価	378,136	354,157
売上総利益	546,594	841,637
販売費及び一般管理費	391,828	456,209
営業利益	154,765	385,428
営業外収益		
受取利息	69	69
受取配当金	6	6
助成金収入	7,446	—
雑収入	181	139
営業外収益合計	7,703	215
営業外費用		
雑損失	3	4
営業外費用合計	3	4
経常利益	162,465	385,639
税金等調整前四半期純利益	162,465	385,639
法人税、住民税及び事業税	83,620	128,582
法人税等調整額	△31,298	△8,404
法人税等合計	52,322	120,177
四半期純利益	110,143	265,461
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	110,143	265,461

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	110,143	265,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,692	19,852
その他の包括利益合計	10,692	19,852
四半期包括利益	120,835	285,314
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	120,835	285,314
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	162,465	385,639
減価償却費	148,709	89,910
のれん償却額	2,555	2,555
賞与引当金の増減額(△は減少)	350	51,938
受取利息及び受取配当金	△75	△69
売上債権の増減額(△は増加)	115,821	20,985
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	22,494	△19,267
前受金の増減額(△は減少)	189,150	202,114
その他	△9,106	10,183
小計	632,365	743,989
利息及び配当金の受取額	73	58
法人税等の支払額	△59,252	△74,216
営業活動によるキャッシュ・フロー	573,187	669,831
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	600,000	610,118
定期預金の預入による支出	△600,000	△600,000
有形固定資産の取得による支出	△10,279	△14,721
無形固定資産の取得による支出	△122,929	△99,503
その他	0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△133,208	△104,106
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△59,806	—
配当金の支払額	△86,550	△86,548
その他	△6,246	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△152,603	△86,548
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	287,374	479,175
現金及び現金同等物の期首残高	1,627,487	1,865,096
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,914,861	2,344,272

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	パッケージ ソフトウェア	システム開発 サービス	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	847,084	77,646	924,730	—	924,730
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	34,077	34,077	△34,077	—
計	847,084	111,723	958,807	△34,077	924,730
セグメント利益	351,827	8,706	360,534	△205,768	154,765

(注) 1. セグメント利益の調整額△205,768千円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	パッケージ ソフトウェア	システム開発 サービス	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,124,102	71,693	1,195,795	—	1,195,795
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	38,393	38,393	△38,393	—
計	1,124,102	110,086	1,234,188	△38,393	1,195,795
セグメント利益	627,453	9,833	637,286	△251,858	385,428

(注) 1. セグメント利益の調整額△251,858千円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。